

造形活動を記述する言葉から探る 造形活動の自覚についての研究 —学修者に実感ある造形活動支援学修を目指して—

菖蒲澤 侑*

本研究は、幼児教育や保育を専門とする大学生が造形表現に取り組む授業において、学生の実感ある造形活動支援学修を実現することを目的とするものである。造形活動に取り組むことで造形活動支援について学修するという構造の授業において、造形活動を「やらされる」状態である学生が実感をもって学修に臨めることを目指し、造形活動に取り組む学生が自身の造形活動について自覚している内容を探ったものである。学生が自身の造形活動について記述した文章を「自身の内面を語る言葉」「制作過程を語る言葉」「作品を語る言葉」に分類しその内容をカテゴリー分けした。更に、記述に表れている学生の造形活動についての自覚がどのような造形活動支援学修に繋がり得るか検討した。以上の手続きにより得られた、学生の造形活動についての自覚とそこから繋がる造形活動支援学修について学修モデルを作成し、授業で「やらされる」造形活動であっても、実感をもって造形活動支援についてその意味や方法を学修することができる授業開発への示唆を得た。

Key words : 造形活動, 造形活動支援, 実感ある学び

1. はじめに

幼稚園教諭免許状または保育士資格取得のために学修が必要とされている内容に、保育内容「表現」領域に関する科目がある。音楽、身体、造形などによる表現について、多くは体験を伴いながら、それら表現における育ちや学び、その支援について学修する科目である。本研究ではその中でも造形表現について、幼児教育や保育を専門とする学生が造形活動に取り組む授業が持つ構造上の難しさに端を発し、美術を専門とせず幼児教育や保育を専門とする大学生が実感を得ながら学ぶことができる造形活動支援についての学修を実現するため、学生が造形活動に取り組む授業において、自分が体験している造形活動をどのように自覚しているか、学生本人の記述から探るものである。

2. 造形活動支援学修における「造形活動への自覚」の重要性

1) 表現領域における学びや育ちの特徴

菖蒲澤 (2020) において、保育所保育指針と幼稚園教育要領を基に、造形活動を体験することによる学びの特徴について以下のように整理している。

まず、両資料において「ねらい」の全文に「感じたことや考えたことを自分なりに表現することを通して」とあるように、表現領域は表現行為を通して学び成長することが前提になっている。また表現行為を通して育ち学ぶこととして、両資料の表現領域におけるねらいを分析し、「豊かな感性をもつこと」「感じたことや考えたことなどを自分なりに表現しようとし、そのことを楽しむこ

*人間学部児童発達学科

と」「生活や遊びの中での様々な体験を通してイメージや感性が豊かになること」「イメージを豊かにしながら様々な表現を楽しむこと」を整理した。更に、これらの学びや育ちが表現行為のどのような要素によって引き起こされるのか、指針及び教育要領の精読より、《表現主題とその形成に関すること》《材料や用具に関すること》《他者との関係に関すること》に整理した。すなわち、表現行為における《表現主題とその形成に関すること》《材料や用具に関すること》《他者との関係に関すること》といった要素が関連し合い、表現領域のねらいである「豊かな感性をもつこと」「感じたことや考えたことなどを自分なりに表現しようとし、そのことを楽しむこと」「生活や遊びの中での様々な体験を通してイメージや感性が豊かになること」「イメージを豊かにしながら様々な表現を楽しむこと」という育ちや学びが引き起こされるという構図を得た。¹

2) 造形活動支援学修の構造と問題

前項でまとめた表現領域における学びや育ちの特徴をふまえると、造形活動を「支援する」ことを学修する際には、様々な要素が複雑に関連して成立する表現行為を、《表現主題とその形成に関すること》《材料や用具に関すること》《他者との関係に関すること》といった要素に整理して認識し、それら要素が「豊かな感性をもつこと」「感じたことや考えたことなどを自分なりに表現しようとし、そのことを楽しむこと」「生活や遊びの中での様々な体験を通してイメージや感性が豊かになること」「イメージを豊かにしながら様々な表現を楽しむこと」という育ちや学びにつながる構図を理解し、更にその実現に向けて適切な支援について、知識技能、思考力や判断力等の面で身に着けることが必要ということになる。これは、保育や幼児教育を専門とする学生にとって容易ではない。その理由をここでは2点に整理する。

1点目は、授業が持つ「やらされる」という強制性、非主体性である。美術や造形表現への専門性を持たない学生にとって、単位のため、課題として造形活動に取り組みながら内容をメタ的に認識し、その意味を理解し、支援の考え方や技術に

つなげるということは相当に高度なことである。また幼児教育・保育の現場で役に立つ造形技術を身に着けようとしても、造形活動の価値を理解していなければ、そこで学修する造形活動支援技術は、相手である子どもたちを無視した技術となる危険がある。

2点目は、大学における教育活動の状況の変化である。2020年9月現在、人口の多い地域の大学では感染拡大防止のための遠隔授業が続いている。遠隔授業で行われる造形活動科目では学生の制作過程にリアルタイムで教員が声をかけることができず、学生が造形活動過程を教員と共有し意味を確認しづらい。これは対面授業であっても、規模によっては個別の対応は難しく、同様の問題を抱えている。

以上のことから、学生が造形活動を経験する授業において、造形活動に取り組むだけでその意味、育ちや学びへの価値を認識し、更にその支援についても理解することは容易ではなく、その実現のためには、学生自身が取り組んでいる造形活動について感じ、自覚している事柄に寄り添う必要があると考えられる。すなわち、学生自身が自分の活動をどのように認識しているか把握し、学生の自覚に寄り添い伴走しながら造形活動支援について学修する授業デザインが必要である。

以上のことから本研究では、まず学生は自分たちの造形活動をどのように認識しているのか探るため、授業で造形活動に取り組んだ学生が自身の活動について記述した文章を分析する。

3. 造形活動を語る記述の分析

1) 調査対象である造形活動と対象者

本研究で分析対象とする学生の記述は、2020年度5月～7月にB大学において開講された保育内容「表現」領域に関する授業において提出されたものである。この授業は造形活動に実際に取り組むことを中心とする授業内容であり、感染拡大防止のため全てオンライン・オンデマンド方式で実施された。

ここでは、5つの造形活動に対する学生3名の記述を分析の対象とする。分析対象は1年次の学

生であり、更に授業がオンライン・オンデマンド型で実施された故に家にあるもので1人あるいは家族とプライベートな環境で取り組んだ造形活動であるため、経験した造形活動について素朴で素直な記述が得られていると考える。なお研究協力に同意し提出内容の論文掲載を許可した学生の提出内容のみを対象としている。また学生が取り組んだ造形活動の概要と記述全文、作品写真を文末に付している。

2) 分析の視点の設定

以上の手続きにより得られた学生の記述を、本研究では、「自身の内面を語る言葉」「制作過程を語る言葉」「作品を語る言葉」に分け、それぞれの内容を検討する。

この3つの分類は、前述した表現行為の要素《表現主題とその形成に関すること》《材料や用具に関すること》《他者との関係に関すること》をもとにしている。本研究は学生が造形活動支援について自覚や実感をもって学修することを目的としており、その学修において実現を目指す子どもの学びや育ちに繋がる表現行為の要素について《表

現主題とその形成に関すること》《材料や用具に関すること》《他者との関係に関すること》と整理しているためである。《表現主題とその形成に関すること》に関する視点として、主題を形成し主題を得る「自分の内面を語る言葉」を設定した。また、《材料や用具に関すること》に関する視点として、材料や用具を使用し活用する「制作過程を語る言葉」と、その成果としての「作品を語る言葉」を設定した。《他者との関係に関すること》については、本研究がオンライン・オンデマンド形式で実施された授業を基にしているため、今回の分析では分類を設定していない。

3) 記述の分析

学生の記述を分析した内容を本項にて示す。学生3名が活動①～⑤について記述した文章を「自身の内面を語る言葉」「制作過程を語る言葉」「作品を語る言葉」に分け、更に各分類の中で記述されている内容を読み取りカテゴリー分けしたものが表1～3である。²

表1 学生が記述した「自身の内面を語る言葉」と分類

カテゴリー	学生の記述
制作過程との関連： 制作中の変化	立ってみるとときと感じる雰囲気が違って面白かった／きっかけが見つかる。「こう見えたけど、写真ではこんな風に見えるな」「もうちょっとこんな感じなのないかな?」「あれを足したらもっと素敵になりそう」等と自分の「いい」を追求して発展的な活動ができるのが楽しい
制作過程との関連： 制作の主題、意図	ユニコーンは幼い女の子が好きそうな動物だと思うので「夢」というテーマにぴったりだと思いました／私の夢は「蝶のようにふわふわ飛ぶこと」と「自分の殻を破ること」／スイーツとコーヒー、カフェが好きなのでそんな鳥があったらいいなというのを思いついた
制作過程との関連： もっとこうしたい	他の色でも作りたい／今回切り抜いた紙にセロファンをあてたら綺麗だと思った。光に当てて影になった模様を観察したい。／葉っぱや花びらなど、ちぎったりして形を変えながら写し取るのも面白そう。／布もおって切ったら綺麗なランチョンマットにもなりそう／もう少し変わった形のものや、折り紙でも一色の折り紙ではなくグラデーションになっていたりする折り紙があったらもっと楽しかったかなと思います
作品との関連： 私にはこう見える、 感じる	初めて全体像を見たとき、楽しそうだと思った。しかし、しばらく見ていると不安な気持ちになった。ピエロを見ている感覚／ねじった紙を束にして繋げていたら、なんとなく蛇のように見えてきた／私には左から、きつね、小鳥、大きなカメに見えました。
いい・価値	「このこの毛いいじゃん!」と思い／透けたら綺麗なと思って／「いいな」と思うもの／いいなと思ったのでこれに決めた／あまり考えずに「いいじゃん!」と思うものを写真に撮っていたのですごく楽しかったです／想像していなかった形が意外と自分のお気に入りになった

表2 学生が記述した「制作過程を語る言葉」と分類

カテゴリー	学生の記述
発想 構想	「夢」から連想できるもの、自分が用意している材料を考えた時に想像上の動物ユニコーンが思いつきました／二つの夢を掛け合わせた世界を作ろうと思った／ストローでお花の形に切ったことやマニキュアで塗った事が楽しかった／普段取らない姿勢から見えた世界を取ろうと思い、床に這いつくばってスポットを探していた
発見	影にならないようにとるのが大変でした。／懐中電灯のヘッドが面白い形であることに気づけた。紐はすぐ動いてしまうので、写し取るには向いていなかった。／紙をねじる時に指先を切ってしまった。折り紙や画用紙に比べて、雑紙は滑る素材なのでもっと注意するべきだった。／選んだ4色の中では黄色が一番強く見えそうだなと思って塗り始めたが、塗り終えたら紫が一番目を引いた。／もう少し変わった形のものや、折り紙でも一色の折り紙ではなくグラデーションになっていたりする折り紙があったらもっと楽しかったかなと思います
難しさ	自分がこうしたい！と思った形にするのが難しかった／同じ色が隣りあわないように考えるのは大変／「自分にとっての夢の世界は何なのか」がなかなか纏まらなかった。造形前のある程度のテーマを決めていたが、作っている最中に「こんなの混ぜよう」「ああやって表現しよう」などと発想が膨らんでいき、結果として色々な夢の世界を作り出してしまった。／きっかけを見つける前に探索行動に飽きてしまうと、活動にならない。具体性のないものを探すのは結構疲れるので、一度つまづくと活動を再開するのが難しいと思った／物をなぞって書く事が難しかった／スイーツやコーヒーをどうやって立てようかと考えるのが難しかった／ふとした時にこれはこの形だからこう撮りたいと思ってしまうことがあり自然に撮れないのが難しかった／なかなか動物に見えなかったりもするのでそこが難しい／影にならないようにとるのが大変でした。／面積が広い場所を塗るときや、柄を混ぜる頻度が難しかった。／色塗りを久々にやったので塗り方がちょっと汚くなった
楽しさ	自分が適当に切ったり、くしゃくしゃにした紙から動物を探すのが楽しかった／あまり考えずに「いいじゃん！」と思うものを写真に撮っていたのですごく楽しかったです／適当に切ったところが綺麗な模様になって面白かった／組み合わせる色によって引き立つ色が変わるのは面白いと思った／目的を考えずに作られた形なので、角度や組み合わせによって色々なものに見えるのが面白いと思った。想像力次第で何でも作り出せる活動だと思う／折り紙を開いた時にどんな形になっているのか想像するのが楽しかった／パッと見綺麗に見えてちょっと楽しかったです／新聞紙の匂いが久々に嗅ぐと結構いい匂いだった。紙を破ったりくしゃくしゃにする音が楽しかった／紙をねじった時の「ギュッギュッ」「キュー～」という音が、手に伝わってきて面白かった。ねじる方向や紙の向きを考えずに作ったので、繋げるときにほどけて苦労したが、丈夫に繋げられたときの達成感がとても大きかった／作っていくと、だんだん自分の思い描いているユニコーンに近づいていくのでそこが楽しかった／紙の音がよかったです、触り心地がよかったです、不要になったもので楽しく遊べるところがとてもいい／ストレス発散にもなって楽しかった／ストローでお花の形に切ったことやマニキュアで塗った事が楽しかった。
造形活動の特徴	考えるのがとても楽しかった／作るのがとても楽しかった／どうしたら「いいな」と思うのができるか考えるのはすごく楽しかった／工夫するとより良い作品になるのがとても楽しかった／五感で何かできることが少ないのでそれは面白かった／試行錯誤するのは楽しかった／自分でテーマを見つけて作るのは難しいなと思いました／夢の世界について考えるのは非常に楽しかった。／思ったより時間もかかるので途中で飽きたりしてしまいました／何か自分で行動することが快感だった。／大きくなると目標を達成すると何かを成し遂げるといったのが普通になってしまうから何も考えないでやるのがちょっと最初は難しかったです。

表3 学生が記述した「作品を語る言葉」と分類

カテゴリー	学生の記述
意図したこと	あらわしたのはユニコーンです／雨の日の空はどんよりした感じだけど、その分町の中はカラフルになる。そんなイメージです／同じ卵パックから生まれた蝶が違う種類なのは、一人ひとりの個性の違いを表現したかったから。また、手前の繭玉（座っている白い人形）はここまでの私。自分の殻を破り、自分らしく輝くことを目指して蝶へと変態している
見立て・想像	小さい子が雨の日に使う長靴や、傘、レインコートみたい／カルピス。洋服の柄にありそう。／私には左から、きつね、小鳥、大きなカメに見えました
残念、意外	しかし、柄がうるさくて模様が見えにくくなってしまったのは残念だった。／いろんな形を重ねて書くのは、あまり納得いく仕上がりににはなりませんでした／色の配色が納得いかない／思っていたよりも4色の主張が強い
よさ	想像していなかった形が意外と自分のお気に入りになった／撮ってみたら結構綺麗になりました／すごく素敵な作品になって／最後には纏まったので良かったと思う／パッと見綺麗

表1で示したカテゴリーが、学生の記述について内容を基にさらに整理したものである。【制作過程との関連：制作中の変化】は制作中に生じた内面での思考とその変化を記述しており、【制作過程との関連：制作の主題、意図】は制作意図との関連で内面の感性や価値観が言語化されている。また【制作過程との関連：もっとこうしたい】では制作中の欲求から言語化された価値観が表れている。これら記述からは造形活動が「自分」の感じ方、考え方に基づいていることを学修する可能性が得られる。

また、【作品との関連：私にはこう見える、感じる】は完成した作品を描写することで感性や価値観が言語化されている部分である。ここでは作品が完成して終わるものではなく、作品と向き合うことで自己と向き合うという造形活動支援における重要な考えへの気づきが見られる。

更に、【いい・価値】は造形活動を通して向き合う、言語化しきれない感性や価値観であり、なんとなくいい、好きという感覚である。ここには言葉にならない学びや育ち、造形活動が人の学びや育ちに対して持つ役割の根源的な部分が表れているだろう。

表2に示したように、「制作過程を語る言葉」は【発想・構想】【発見】【難しさ】【楽しさ】【造形活動の特徴】に分類した。

まず【発想・構想】は制作前や制作中の思考、制作意図が記述されており、【発見】は制作中に

生じた具体的な困難で解決策や代替案があるものが書かれている。ここから学生は、造形活動の最中に生じる具体的な問題解決という学びや育ちを自覚しうることがわかる。

また【難しさ】は制作中に生じた難しさの中でも、つまずきに繋がるものや乗り越えることで学びに展開しうるものなど解決に工夫が必要なこと、まだ解決の手立てを得られていないことが記述されている。これは、学生本人が支援を必要としているポイントであると同時に乗り越えることで育ちや学びにつながるポイントである。このことは造形活動支援においても同様であり、造形活動支援学修につながる自覚であろう。

【楽しさ】は造形活動の楽しさが記述されている部分であり、うまくいく喜び、手軽さ、心身の活性、五感などが言及されている。この自覚から、取り組んだ造形活動の題材としての特徴や魅力への気づきを促すことができるであろう。

【造形活動の魅力】は造形活動全般の魅力に触れている、気づいていることが伺われる記述である。この点をより明確に自覚することで、造形活動への苦手意識を払拭することに繋がり、保育や幼児教育での造形活動への根本的な関心を高められると考える。

表3で示した「作品を語る言葉」については、【意図したこと】【見立て・想像】【残念、意外】【よさ】に分類することができた。

【意図したこと】は出来た作品について納得し

て言語化できている部分である。ここには自身の造形活動の中でも人に伝えたい部分が表れており、人に見せたい、共有したい造形活動、その成果としての作品という認識に繋がりが得る。

また、【見立て・想像】は作品から想像したことや、意図せず生じた面白さについて言及されている部分である。造形作品を見ることで気が付く自身の感性や価値観が言語化され、自覚されている。

【残念、意外】は納得できないところ、やってみて想定と違っていた部分である。これは、作品が完成して終わりではなく、「もっとこうしたい」「次はこうしたい」に展開することを自覚しようということが表れている。

最後に【よさ】は、具体的な言葉にはしきれない感覚的な作品の魅力を表しており、作品から、自分の感性や価値観を確認していると思われる。

以上のように、学生の記述を分析して得られた造形活動に取り組む学生が自覚している、自覚しようと思われる要素をもとに、学生にとって実感ある造形活動支援学修モデルを検討する。

4. 学生の実感ある造形活動支援学修モデル

学生が実感を得ながら造形活動支援について学修することを目指し、前章までに得られた造形活動に取り組む学生が自覚していると思われる要素をもとに、造形活動支援学修モデルを作成した。図1は学生が自覚している・自覚しようる要素を、授業で取り組む造形活動の「導入・制作・完成と振り返り」に配置したものである。

図中央の白い背景のエリアに、学生の自覚要素を配置した。四角吹き出し内、斜体が「自身の内面を語る言葉」、太字が「制作過程を語る言葉」、下線が「作品を語る言葉」から得られた要素である。1つの造形活動の中で、概ね図のように学生の自覚が表れていると考えられる。すなわちこの図は、学生が造形活動に取り組みながら、自身の造形活動の意味を自覚する機会を示している。

更に、図上下の背景が灰色の部分では、学生の自覚から造形活動支援学修への展開を示している。例えば学生が制作中に自覚する「制作中の変

化」や「制作の主題、意図」「もっとこうしたい」は、造形活動支援における「自分の感じ方、考え方の学び」に繋がりが得る。また、完成した作品から実感をもって「見立て・想像」を得られた際には、そこから「作品を見ることで気が付く自身の感性や価値観」という造形活動支援の発想に繋がりが得る。他の要素についても、前項において分析したものをモデル図に配置している。

以上のように、造形活動に取り組んだ学生の記述から、造形活動に取り組むことで学生が自覚しうることを整理し、それをもとに、学生にとって実感ある造形活動支援学修モデルを作成した。このモデルは学生の記述に端を発し、学生が造形活動について自覚していること、しうることに基いて形成している。そのため、本モデルをもとにした授業内容、方法、評価の方法を検討することで、学生が授業で「やらされる」造形活動であっても、実感をもって造形活動支援についてその意味や方法を学修することができる考える。

5. おわりに

本研究で得られたモデルは、学生の自覚を重視している。そのため今後、造形活動支援、教育についての学修の自覚をより促すための言語化、メタ化の方法を検討する必要がある。

また、幼稚園教育要領および保育所保育指針から得られた表現による子どもの学び「豊かな感性をもつこと」「感じたことや考えたことなどを自分なりに表現しようとし、そのことを楽しむこと」「生活や遊びの中での様々な体験を通してイメージや感性が豊かになること」「イメージを豊かにしながら様々な表現を楽しむこと」とそれを引き起こす表現行為の性質《表現主題とその形成に関する》《材料や用具に関すること》《他者との関係に関すること》との関連を整理し、造形活動に取り組んだ学生の自覚に根差しながら、最後には的確に乳幼児の造形活動支援について学修できる授業開発を進めたい。またそのために、学生が造形活動に取り組んで得られた自覚を適切に記録できる学修ポートフォリオと、メタ化して認識、評価するためのルーブリックの開発を検討している。

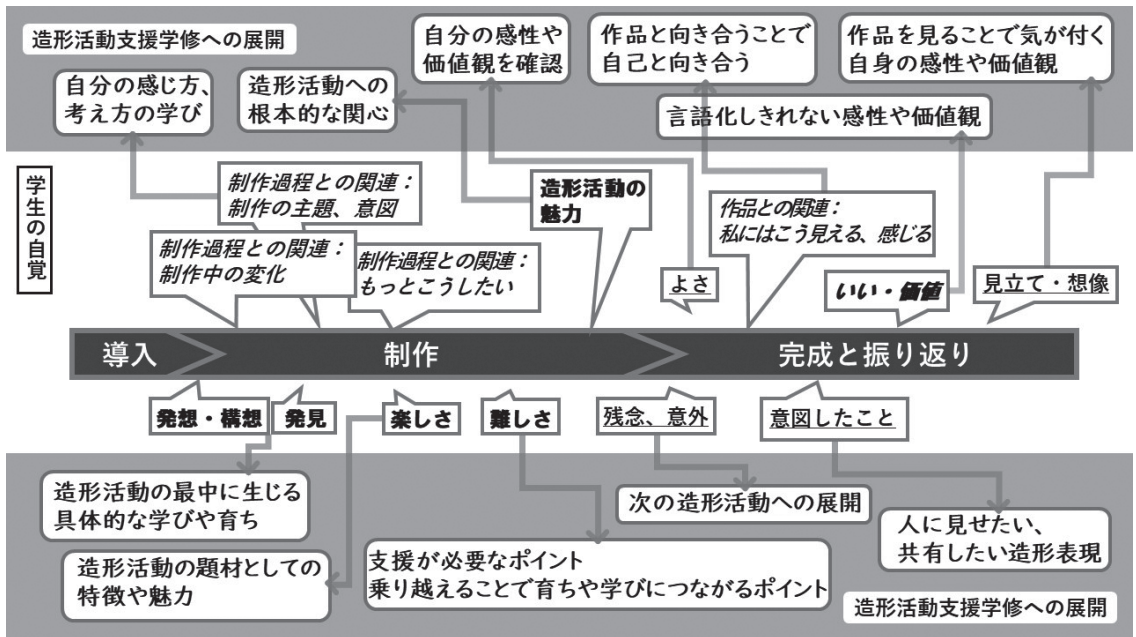


図1 学生の実感ある造形活動支援学修モデル

幼児教育や保育は、乳幼児ともに発見や発展、変化を楽しみながら乳幼児に寄り添うことが重要である。そのため、その専門を究めようとする学生が授業内で体験する造形活動においては、体験者が自身の変化や学びに実感を持ち自覚することが必要である。子どもと子どもに寄り添う大人とが取り組む造形活動が、学びや成長の糧として最大の効果と可能性をもつ活動となるよう、今後も実践と研究を往還させて取り組んでいく。

注

- 1) 菖蒲澤 (2020) において、大学生の記述を基に、表現行為における《表現主題とその形成に関する》《材料や用具に関すること》《他者との関係に関すること》の要素がどのように関連して、どのような表現による学びが起きているか分析し、造形活動体験による学びのモデルを作成した。
- 2) 表1～3における記述は学生の提出内容のまま掲載している。

引用文献

厚生労働省編 (2018). 保育所保育指針解説. フレーベル館. 168頁. 267頁

文部科学省 (2018). 幼稚園教育要領解説. フレーベル館. 233頁

菖蒲澤 侑 (2020). 学びとしての造形活動体験の検討—幼児教育・保育を学ぶ体験者の記述から—. 文京学院大学人間学部研究紀要. 86頁

(受稿日 :2020.9.30 受理日 :2020.11.5)

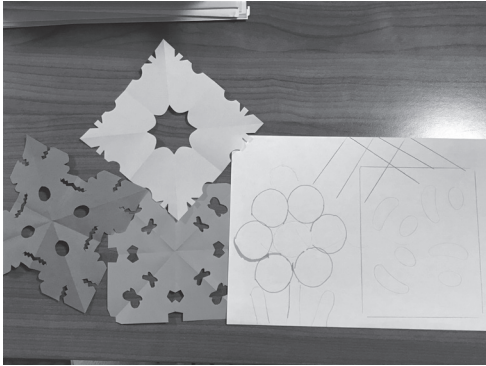
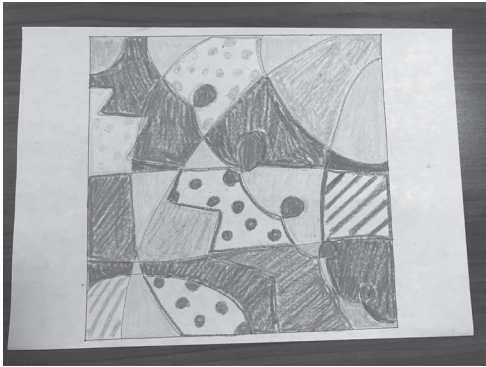
付録：学生が取り組んだ造形活動と記述全文及び作品写真

取り組んだ造形活動

	テーマ	概要
活動①	形であそぼう	家にあるものの輪郭をなぞる表現と切り紙遊び。
活動②	色であそぼう	ランダムに線を引いて出来た模様の色を塗る表現。
活動③	雑紙で造形遊び	新聞紙などの雑紙をやぶく、丸めるなどして形を変化させ、目を付けて生きものに見立てる造形遊び。
活動④	身近なもので主題のある表現	生活の中で得られる廃材を材料として夢の世界を造形する表現。
活動⑤	写真であそぼう	身近なものを対象に視点を変えて撮影する表現。

学生 A の記述全文及び作品写真

斜体部が「自分の内面を語る言葉」、太字部が「制作過程を語る言葉」、下線部が「作品を語る言葉」である。太字・斜体・下線が重複している記述は、複数のカテゴリーの内容を含む部分である。

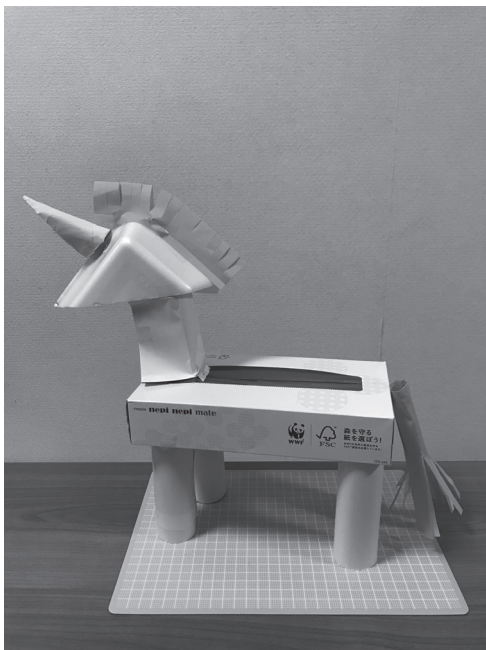
	作品写真	記述
活動① 形であそぼう		自分がこうしたい！と思った形にするのが難しかったですが、 <u>想像していなかった形が意外と自分のお気に入りになったりして作るのがとても楽しかったです。</u> いろいろな形を重ねて書くのは、あまり納得いく仕上がりにはなりませんでしたが、トイレットペーパーの芯と自分の手を使ってお花にしてみたり試行錯誤するのは楽しかったです。もう少し変わった形のものや、折り紙でも一色の折り紙ではなくグラデーションになっていたりする折り紙があったらもっと楽しかったかなと思います。
活動② 色であそぼう		小さい子が雨の日に使う長靴や、傘、レインコートみたいだと思いました。雨の日の空はどんよりした感じだけど、その分町の中はカラフルになる。そんなイメージです。色を塗るだけで、 <u>すごく素敵な作品になって他の色でも作りたかったです。</u> 同じ色が隣りあわないように考えるのは大変でしたが、どうしたら「いいな」と思うものができるか考えるのはすごく楽しかったです。

活動③
雑紙で造形遊び

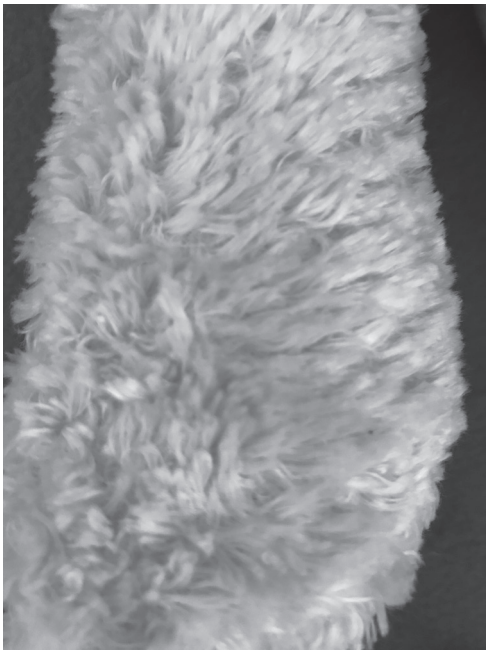


自分が適当に切ったり、くしゃくしゃにした紙から動物を探すのが楽しかったのでこの写真にしました。私には左から、きつね、小鳥、大きなカメに見えました。目をつけるとなると「もっとここはこうしてみようかな」と思ったりして工夫するとより良い作品になるのがとても楽しかったです。紙の音がよかったり、触り心地がよかったり、不要になったもので楽しく遊べるところがとてもいいと思うし、紙を切る時にストレス発散にもなって楽しかったです。ただ、新聞を切っていると手が汚れるので小さな子供たちが汚れた手を口に入れたりしないように気を付けなくてはいけないところと、なかなか動物に見えなかったりもするのでそこが難しいところだと思いました。

活動④
身近なもので主題のある表現

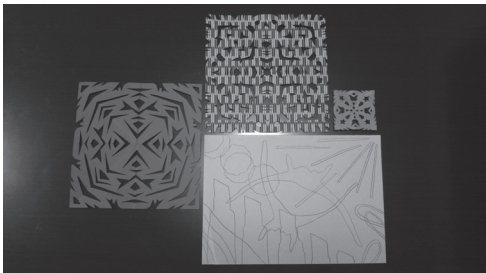
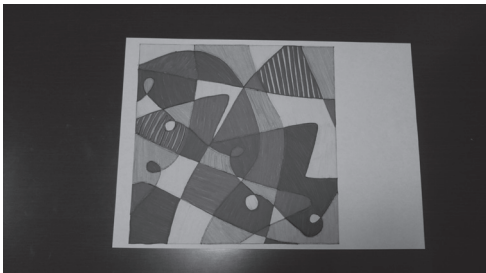




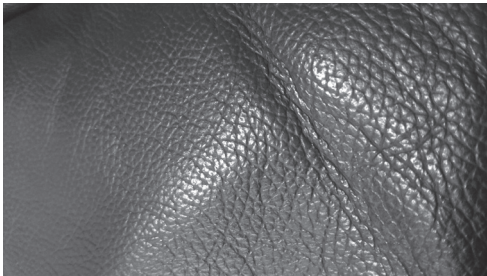
あらわしたのはユニコーンです。「夢」から連想できるもの、自分が用意している材料を考えた時に想像上の動物ユニコーンが思いつきました。ユニコーンは幼い女の子が好きそうな動物だと思うので「夢」というテーマにぴったりだと思いました。作っていくと、だんだん自分の思い描いているユニコーンに近づいていくのでそこが楽しかったです。思ったより体のバランスにちょうどいい箱が見つからなかったり、顔がうまくいかなかったりもしたので自分でテーマを見つけて作るの難しいなと思いました。思ったより時間もかかるので途中で飽きたりしてしまいました。小さい子供達は、私達よりも発想力はあると思いますが上手いかわなくて嫌になってしまったりするのではないかなと思いました。

<p>活動⑤ 写真であそぼう</p>		<p>写真を撮りながら家を探している時にぬいぐるみが目にとまって「このこの毛いいじゃん！」と思い撮りました。あまり考えずに「いいじゃん！」と思うものを写真に撮っていたのですごく楽しかったです。子供達は私達よりも感性が豊かだと思うので、もっと面白い「いい」が集められるのではないかなと思いました。難しいのは写真の撮り方です。影にならないようにするのが大変でした。</p>
------------------------	---	--

学生Bの記述全文及び作品写真

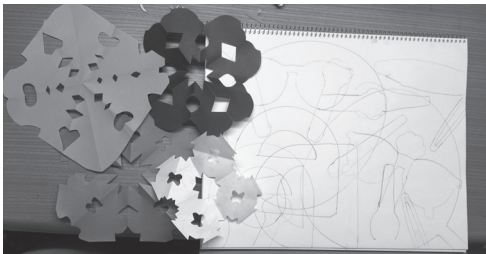
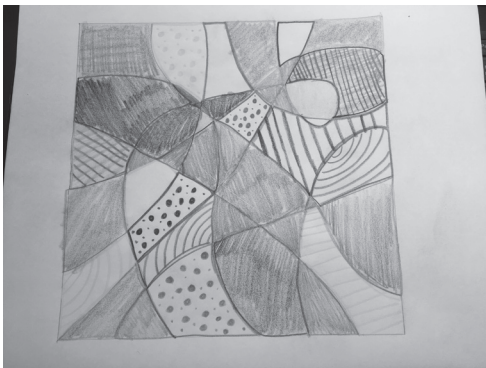

斜体部が「自分の内面を語る言葉」、太字部が「制作過程を語る言葉」、下線部が「作品を語る言葉」である。太字・斜体・下線が重複している記述は、複数のカテゴリーの内容を含む部分である。

	作品写真	記述
<p>活動① 形であそぼう</p>		<p>・適当に切ったところが綺麗な模様になって面白かった。しかし、柄がうるさくて模様が見えにくくなってしまったのは残念だった。・懐中電灯のヘッドが面白い形であることに気づけた。紐はすぐ動いてしまうので、写し取るには向いていなかった。・今回切り抜いた紙にセロファンをあてたら綺麗だと思った。光に当てて影になった模様を観察したい。・葉っぱや花びらなど、ちぎったりして形を変えながら写し取るのも面白そう。</p>
<p>活動② 色であそぼう</p>		<p>思っていたよりも4色の主張が強い。初めて全体像を見たとき、楽しそうだった。しかし、しばらく見ていると不安な気持ちになった。ピエロを見ている感覚。面積が広い場所を塗るときや、柄を混ぜる頻度が難しかった。選んだ4色の中では黄色が一番強く見えそうだなと思って塗り始めたが、塗り終えたら紫が一番目を引いた。組み合わせる色によって引き立つ色が変わるのは面白いと思った。</p>

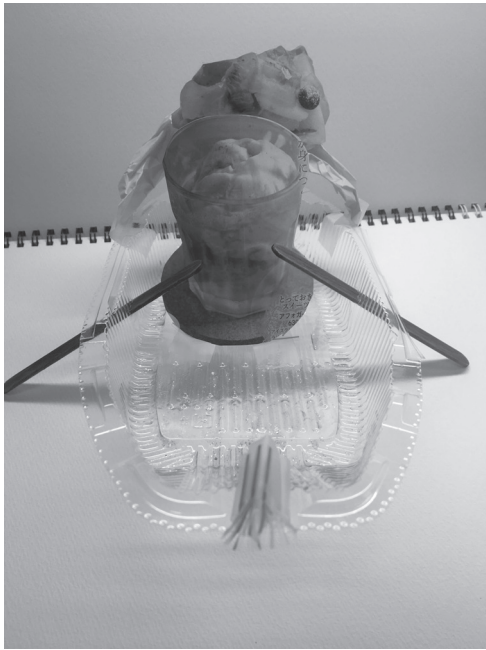
<p>活動③ 雑紙で造形遊び</p>		<p>ねじった紙を束にして繋げていたら、なんとなく蛇のように見えてきた。紙をねじった時の「ギュッキュッ」「キュ〜」という音が、手に伝わってきて面白かった。ねじる方向や紙の向きを考えずに作ったので、繋げるときにほどけて苦勞したが、丈夫に繋げられたときの達成感がとても大きかった。目的を考えずに作られた形なので、角度や組み合わせによって色々なものに見えるのが面白いと思った。想像力次第で何でも作り出せる活動だと思う。紙をねじる時に指先を切ってしまった。折り紙や画用紙に比べて、雑紙は滑る素材なのでもっと注意するべきだった。今後の創作では素材の材質をよく調べて、扱うようにしたい。</p>
<p>活動④ 身近なもので主題のある表現</p>		<p>私の夢は「蝶のようにふわふわ飛ぶこと」と「自分の殻を破ること」なので、二つの夢を掛け合わせた世界を作ろうと思った。同じ卵パックから生まれた蝶が違う種類なのは、一人ひとりの個性の違いを表現したかったから。また、手前の蘭玉（座っている白い人形）はここまでの私。自分の殻を破り、自分らしく輝くことを目指して蝶へと変態している。「自分にとっての夢の世界は何なのか」がなかなか纏まらなかった。造形前のある程度のテーマを決めていたが、作っている最中に「こんなの混ぜよう」「ああやって表現しよう」などと発想が膨らんでいき、結果として色々な夢の世界を作り出してしまった。最後には纏まったので良かったと思うし、夢の世界について考えるのは非常に楽しかった。</p>
<p>活動⑤ 写真であそぼう</p>		<p>普段取らない姿勢から見えた世界を取ろうと思い、床に這いつくばってスポットを探していた。立ってみるときと感じる雰囲気違って面白かったが、すぐに首が痛くなったのでソファに横になった。しばらくして、ソファの表面がゴジラの肌に似ていることに気づき、いいなと思ったのでこれに決めた。きっかけが見つかるとう「こう見えたけど、写真ではこんな風に見えるな」「もうちょっとこんな感じないかな?」「あれを足したらもっと素敵になりそう」等と自分の「いい」を追求して発展的な活動ができるのが楽しい。ただ、きっかけを見つける前に探索行動に飽きてしまうと、活動にならない。具体性のないものを探するのは結構疲れるので、一度つまづくとう活動を再開するのが難しいと思った。</p>

学生Cの記述全文及び作品写真

斜体部が「自分の内面を語る言葉」、太字部が「制作過程を語る言葉」、下線部が「作品を語る言葉」である。
太字・斜体・下線が重複している記述は、複数のカテゴリーの内容を含む部分である。

	作品写真	記述
活動① 形であそぼう		折り紙を開いた時にどんな形になっているのか想像するのが楽しかったです。物をなぞって書く事が難しかったです。布もおって切ったら綺麗なランチョンマットにもなりそう。
活動② 色であそぼう		カルピス、洋服の柄にありそう。色塗りを久々にやったので塗り方がちょっと汚くなったけどバツと見綺麗に見えてちょっと楽しかったです。色の配色が納得いかないところが難しかったです。
活動③ 雑紙で造形遊び		新聞紙の匂いが久々に嗅ぐと結構いい匂いだった。紙を破ったりくしゃくしゃにする音が楽しかった。最近家にこもりっぱなしでちょっとストレスなどがあったけど何か自分で行動することが快感だった。五感で何かできることが少ないのでそれは面白かったです。大きくなると目標を達成するとか何かを成し遂げるといったのが普通になってしまうから何も考えないでやるのがちょっと最初は難しかったです。

活動④
身近なもので主題のある表現



スイーツとコーヒー、カフェが好きなのでそんな鳥があつたらいいなっていうのを思いついたので銀だこの容器を使って作りました。ストローでお花の形に切ったことやマニキュアで塗った事が楽しかった。スイーツやコーヒーをどうやって立てようかと考えることが難しかった。(ストローで立てました。)

活動⑤
写真であそぼう



ネイルオイルに花がよく入っているのでしかも透明なので透けたら綺麗かなと思って撮ってみたら結構綺麗になりました。適当に撮った物をあとからこれ何かに見えるかと考えることが今はあまりしないことなので考えることがとても楽しかったです。ふとした時にこれはこの形だからこう撮りたいと思ってしまうことがあり自然に撮れないことが難しかったです。